

三三五七番

霞かすみ居ゐる 富士ふじの山やま辺へに 我わが来きなば いづち向むき
てか 妹いもが嘆なげかむ

三三五八番

さ寝ぬらくは 玉たまの緒をばかり 恋こふらくは 富士ふじの
高たかね嶺ねの 鳴なる沢さのごと

三三五九番

駿するが河がの海うみ おしへに生おふる 浜はまつづら 汝いましを頼たの
み 母ははに違たがひぬ